



武庫の宝

令和8年 9月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

「感じて動く」

夏休みが終わり、子どもたちが学校に帰ってきました。ここ数年で新たに耳にするようになった「酷暑」や「ゲリラ雷雨」という言葉に代表される異常気象の中、2学期の始業式も体育館で全校生が集まることは避け、ZOOMでの開催となりました。



わたしは前日にスライドの準備をしながら、「本当なら体育館で子どもたちの反応を確かめながらお話したいなあ」と思っていました。夏休みの中庭で、シオカラトンボの産卵の様子と右写真のように枝にとまっている様子を撮影していたのです。わたしの話ですから「価値発見」、そして今回はそこから生まれる「？」つまり「問い」についても伝えたかったです。



校長室からの画面越しのわたしの言葉は、まさに言葉だけで各教室にはスライドしか映っていません。そして当然こちらには子どもたちの様子は全くわからない状態です。

一生懸命話をしたつもりではありますが、「やりっぱなし」の感はぬぐえないのです。(放課後数名の先生に尋ねてみると『産卵の様子』の方は特に後方の子どもたちはわからなかったとのこと…)

そんな「不安」を払しょくしてくれた子どもたちがいました。休み時間、校長室へ「校長先生、あのトンボまたいた！」と二人の女の子が伝えに来てくれたんです。わたしは「えー始業式の話をもうそうやって確かめに見に行ってくれて…言いに来てくれたんだ！ありがとう～！！」と感激しながら大急ぎで一緒に中庭の池に向かいました。

「教室で見た→池に見に行った→校長室に伝えに行った」…わたしのモットーとしている「感じて動く」だと思いました。夏休みのわたしからの「価値発見キッズ大募集」にも感じて動いてくれたたくさんの子どもたちがいます。朝いちばんに職員室に届けてくれる子もいました。朝の校門前であいさつもそうです、みんな「感じて動いて」くれてるんですね。

2学期は1年の中でいちばん長い学期です。たくさん「価値発見」をして「問い」ももって楽しく学んで、そしてその土台には「感じて動く」子どもたち、そしてわたしたちでありたいと思っています。2学期もどうかご支援ご協力よろしくお願いいたします。